

議会ウォッチ



ココに注目!

新ほうしゅ楽舎建設《東峰見聞録》 P2

新たな観光プラン《トピックス》 P8

ここが聞きたい《一般質問》 P10

観光交流と防災の拠点をあわせた複合施設へ

令和4年度予算に約3億4900万円（工事費及び関連経費を含む）を計上し、可決した新ほうしゅ楽舎建設事業。今年7月には建設工事が開始される見込みです。建設から運用開始まで、議会としても事業進捗を注視していきます。

現在、議会に説明が行われている内容を質問形式で説明します。



多目的室館内イメージ



完成イメージ

いつから運用開始されますか？

令和5年度初めに開館される見込みとなっています。7月開催予定の臨時議会にて、工事請負契約について議決後、本年7月から令和5年3月中旬までの工期で建設工事が行われます。

どのような施設内容となりますか？

施設内容は左記のとおりです。

室名	規模	概要
多目的室	117㎡	研修や講座、地域の法事などの多様な使い方ができる講堂スペース 大人数が収容でき、フローリング仕様の講堂。畳または段ボールベットを活用して団体客の宿泊スペースとしても利用できる。
食事スペース ・食堂 ・厨房	62.7㎡	地場の農産物、農産加工品などを使用したメニューを提供する食堂スペース 食堂スペースに併設して厨房を配置する。上記のようなメニューに加え、テイクアウトできる軽食や飲み物の提供ができる厨房機器を設置する。
交流スペース ・談話スペース ・ロビー	59.82㎡	研利用者が自由に利用できるフリースペース 利用予約なしで利用でき、ロビーや食事スペースとつなげた利用もできる。
宿泊スペース ・客室 x4 ・浴室更衣室 ・トイレ	191.59㎡	体験プログラムや合宿利用者が宿泊するスペース 2~4人が宿泊できる個室(和室2、洋室2)を設け、大浴場、トイレを備える。
共用スペース	65.36㎡	廊下、玄関
管理スペース	39.6㎡	事務室、便所、機械室などの管理機能をバックヤード側に設置する。
駐車スペース		34台（内、身体障害者用2台、大型2台）
合計	536.37㎡	

どのような運営を行いますか？

- ① 田植えや陶芸体験など、農村の暮らし文化を体験する、農林業体験交流事業
- ② 宿泊・食事の提供を行う、観光交流事業
- ③ 災害時の地域住民の避難場所や災害ボランティアセンター機能を有する、防災拠点事業
- ④ 様々な行事や集会などの住民の交流拠点となる、村民交流事業

誰が運営するのですか？

岩屋キャンプ場やポーン太の森キャンプ場などと同様の、指定管理者制度を導入して運営が行われます。今後運営事業者の公募・選定が行われる見込みです。宿泊施設の運営にとどまらず、体験交流事業の企画・運営や防災拠点及び地域交流拠点としての役割も担うため、運営に多様な経験・知識を有する事業者が望まれます。

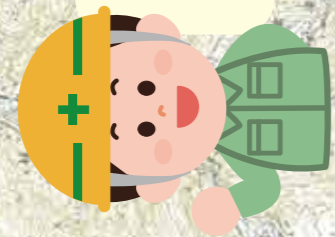
議会では、今後の進捗について、随時チェックしてまいります。



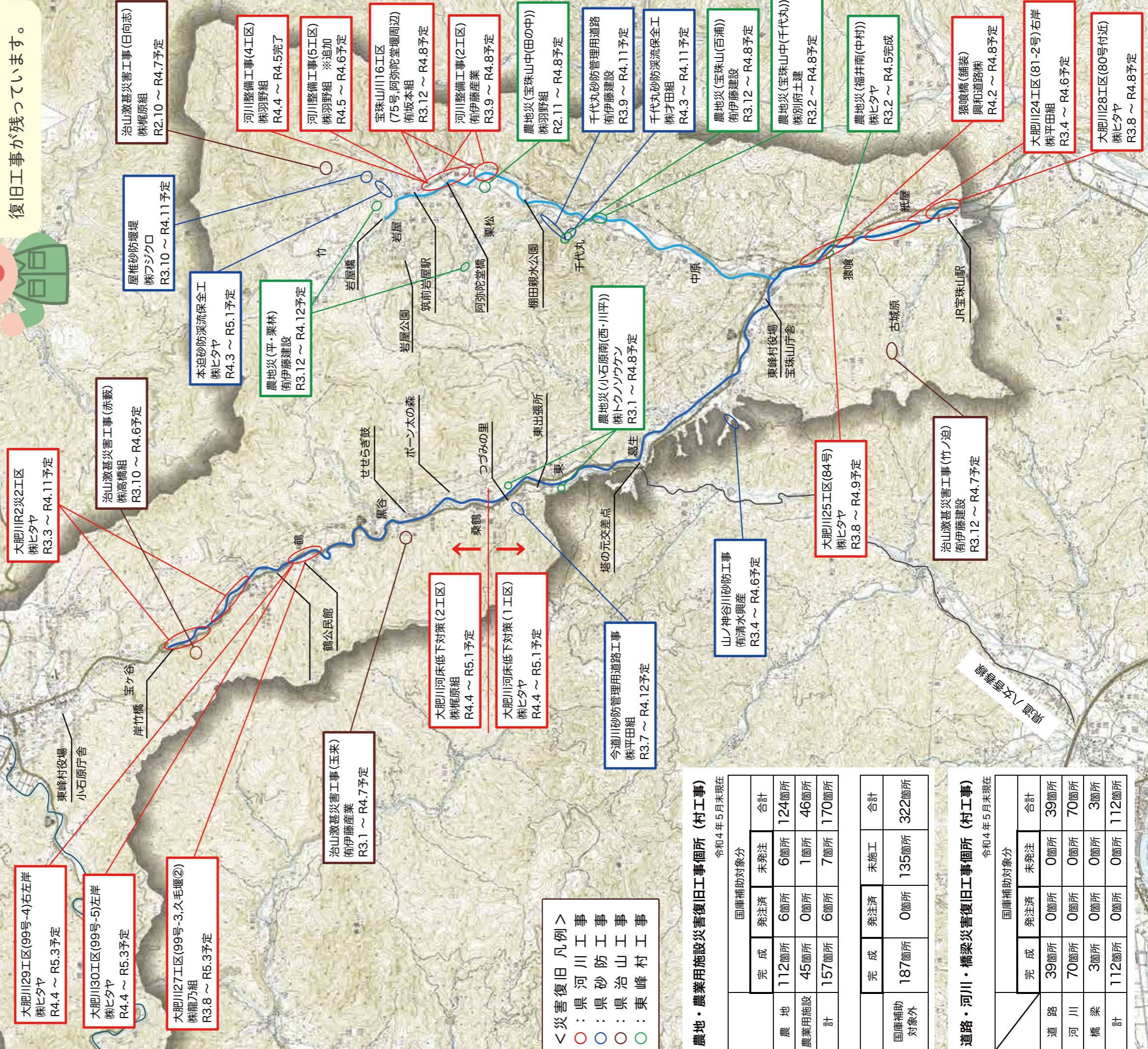
工事はどこまで進んだか？

復旧への道のり(県・村工事)

災害復旧工事箇所位置図
(令和4年5月末現在)



河川復旧工事に隣接している農地や小規模な農地の復旧工事が残っています。



- <災害復旧 凡例>
- : 県河川工事
 - : 県砂防工事
 - : 県治山工事
 - : 東峰村工事

農地・農業用施設災害復旧工事箇所(村工事)
令和4年5月末現在

	国庫補助対象分			合計
	完成	発注済	未発注	
農地	112箇所	6箇所	6箇所	124箇所
農業用施設	45箇所	0箇所	1箇所	46箇所
計	157箇所	6箇所	7箇所	170箇所
国庫補助対象外	完成	発注済	未施工	合計
	187箇所	0箇所	135箇所	322箇所

道路・河川・橋梁災害復旧工事箇所(村工事)
令和4年5月末現在

	国庫補助対象分			合計
	完成	発注済	未発注	
道路	39箇所	0箇所	0箇所	39箇所
河川	70箇所	0箇所	0箇所	70箇所
橋梁	3箇所	0箇所	0箇所	3箇所
計	112箇所	0箇所	0箇所	112箇所

※完成月は5月末現在の予定であり、諸条件により変更となる場合があります。
掲載箇所について、詳しくは役場 72-8011 (災害対策室) までお問い合わせください。

さらなる村政の発展に向けて

本年4月実施の東峰村議会議員選挙にて改選し、5月2日の臨時会より新たな議会構成となりました。主な役職、委員構成を紹介します。議員任期は令和4年5月1日～令和8年4月30日。

公正かつ円滑な 議会運営を行います

議長



伊藤 均

村民の皆さまには、平素から村議会に対し、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

5月2日の臨時会におきまして、議員各位のご推挙を賜り、議長に就任させていただきました。誠に身に余る光栄であり、心より感謝いたしますとともに、その責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。

もとより微力ではございますが、決意を新たにし、さらなる村政の発展と村民福祉の向上に向けて、議員相互の連携を図り、さらなる発展につながる村づくりのために、職務を全うするよう努めてまいります。

議会運営につきましては、公平かつ円滑な議会運営、住民から信頼される議会をめざして、鋭意努力する覚悟であります。集中豪雨災害から本年7月に丸5年が経過し、災害の復旧は完了近づいていますが、これからは、JR日田彦山線問題を含め村の復興に取り組んでまいります。

今後とも村民の皆様の深いご理解とご協力を心からお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

議会の活性化と 公正な議会運営に 努めます

副議長



黒川 隆康

村民の皆様には、日頃より村議会に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和4年5月の臨時会におきまして副議長に就任させていただきました。大変光栄でありまして、その責任の大きさに身の引き締まる思いでございます。

もとより微力ではありますが、議会の果たすべき役割を十分認識し、議会の活性化と公正な議会運営に努めてまいるとともに、東峰村の発展と村民福祉の向上に誠心誠意取り組む所存であります。

いま、新型コロナウイルス感染症の蔓延や少子高齢化・人口減少問題等の対策と共に、令和5年夏の開業を目指して急ピッチで進んでいます。日田彦山線のBRTの活用や地域交通など多くの解決しなければならぬ課題があります。村づくりが具体化していく中、村民と行政・議会が一体となって進めることが重要であると考えます。

今後とも皆様の一層のご支援ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。

委員会委員紹介

議会広報特別委員会



議会広報の編集及び発行に関する事項

議会運営委員会



本会議の会期日程等、議会運営に関する事項

経済常任委員会



所管する課は、ふるさと推進課、農林建設課

総務常任委員会



所管する課は、総務企画課、住民福祉課、教育課

第3回臨時会(5月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	黒川隆康	佐々木紀嘉	大蔵久徳	高橋弘展	梶原伯夫	高倉美紀恵	佐々木孝	樋口朗	和田将幸
条	承認	専決処分の承認を求めることについて(税条例改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	承認	専決処分の承認を求めることについて(国保税条例改正:子育て世帯負担軽減について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
補正予算	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度一般会計補正予算(第9号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	同意	東峰村教育委員会委員の任命について(井上光弘氏)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意	東峰村監査委員の選任について(梶原伯夫氏)	○	○	○	○	※	○	○	○	○
	可決	東峰村議会広報特別委員会設置に関する決議案の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※当事者の為、退席

第4回定例会(6月)議決結果一覧表

賛成:○ 反対:● 欠:-

区分	審議結果	議案一覧	黒川隆康	佐々木紀嘉	大蔵久徳	高橋弘展	梶原伯夫	高倉美紀恵	佐々木孝	樋口朗	和田将幸	
条例	可決	東峰村営住宅設置条例の一部を改正する条例の制定について(南の原団地・下郷団地の廃止)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
補正予算	可決	令和4年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第1号) 8ページへ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	可決	令和4年度東峰村国民健康保険事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	可決	村道路線区域の変更について(宝珠山駅周辺の村道)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	報告	令和3年度東峰村繰越明許費繰越計算書報告	報告のみのため採決は行いません									
	報告	令和3年度東峰村事故繰越し繰越計算書報告	報告のみのため採決は行いません									
	可決	「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための意見書」の提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和4年6月定例会は6月15日から17日までの会期で開催しました。条例改正1件、村道路線区域の変更1件、補正予算2件(一般会計、特別会計)、報告2件、請願1件を慎重審議し、原案どおり可決しました。また9人の議員が一般質問を行いました。なお、一般会計補正予算は6556万9千円を追加し、総額40億1756万3千円となりました。

東峰村の新たな観光プラン作成へ
「もう一つのふるさと＝感幸地・東峰村」



アクアクレタ内のグランピング施設

この事業は、観光庁の調査事業の一環として実施されるものです。昨年度策定した「東峰村観光アクションプラン」が認められ、本年度は、全額(1060万8千円)国負担により、実施されます。

”もう一つのふるさと”とは、何度も地域に通う旅、帰る旅等の新たな仕掛けを作り、中長期滞在者や反復継続した来訪者などの新たな交流市場の開拓、新たに関心の高まっているニーズを取り込み誘客につなげるものです。観光アクションプランは、「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」に基づき東峰村の地域作り推進のために作られました。

具体的な7つのアクション

- ① 観光スタイルの確立
「もう一つのふるさと」感幸地・東峰村「宣言」を行い、何度も行き来する「縁者」をつくる。
- ② 情報発信の強化
ホームページを充実させ、地域資源を磨き、本質的な魅力を積極的に発信していく。
- ③ 宿泊施設のプラン化
ゲストハウス、アクアクレタ、岩屋キャンプ場等の村にある宿泊施設を充実させ、それぞれのよさを生かした滞在型観光や体験型観光をつくる。
- ④ 当地グルメの開発
東峰村の「米」「水」おいしい「朝ごはん」としてのブランド化を推進し、村内の木工製品ややきもの一体となった+αの食に関する価値ある情報をつくる。
- ④ 当地グルメの開発
東峰村の「米」「水」おいしい「朝ごはん」としてのブランド化を推進し、村内の木工製品ややきもの一体となった+αの食に関する価値ある情報をつくる。
- ⑥ 体験メニューの充実
「滞在型感幸」への転換を図る為、泊まって体験できる体験メニューを開発する。(村の農・林・産業や歴史的資源、自然等を生かした体験メニュー) 官民協働により、観光協会の受け皿を組織する。
- ⑦ 組織体制の構築
今年度、東峰村観光アクションプラン推進委員会を発足させ、具体的な取り組みを行い、計画実行・評価・改善(PDCA)に基づく評価を行いながら、アクションプランを充実させていきます。
- ⑤ 陶芸関連の観光化
体験メニュー(土づくり・成形・素焼き・絵付け・本焼き等)を開発し、複数回訪れる「縁者」をつくる。

ここが聞きたい!

一般質問

令和4年 東峰村議会 第4回(6月)定例会

質問順	議員名	質問事項 (色付きは記載事項)	ページ
1	梶原 伯夫	村内交通について 協力隊について	P11
2	大蔵 久徳	災害復旧について 農業振興について 商工業の振興について 地方創生について 地域振興について	P11
3	高橋 弘展	20年後、30年後を見据えた村づくりについて 子どもと高齢者を中心とした村づくりについて PFI・PPPによる公営住宅の建設について	P12
4	佐々木 孝	農業振興について 文化財について	P12
5	佐々木 紀嘉	地域コミュニティづくりについて 地域交通への取り組みについて 日田彦山線沿線地域の活性化への取り組みについて 農業振興への取り組みについて	P13
6	黒川 隆康	防災無線について 親水公園の建物について	P13
7	高倉 美紀恵	歩道のない通学路について 新型コロナウイルス第4回目のワクチン接種について	P14
8	和田 将幸	日田彦山線BRTひこぼしラインについて BRTに伴う地域振興について 親水公園について ほうしゅ楽舎建設について	P14
9	樋口 朗	筑前あさくら農協の小石原ATMの廃止について 農協の店舗機能再構築検討(案)について 旧宝珠山小学校校跡の活用策について 旧ナガノインテリア工業跡の活用策について 広報紙審議会(仮称)やホームページ審議会(仮称)の設置について	P15

一般質問とは・・・

議員が、村の行財政全般にわたって執行機関に疑問点を投げかけ、自治体としての考えを求めるものです。1年に4回ある定例会にて行うことができ、質問と答弁を合わせて1人60分の時間制限の中で行われます。また、東峰村議会では事前に質問の概要を提出し、議会開会前に執行部は答弁の準備を行います。



梶原 伯夫 議員

BRTと村内交通はどう連携する
——村長 課題は大きいがいっしょに検討する

議員 BRTの開通時期はいつか。
村長 令和5年の夏という事で発表された。

議員 村内交通はBRT開通と合わせると言っていたが、問題解決に委員会等は作るのか。
村長 地域公共交通活性化再生法にのっとり協議会を立ち上げて検討に入る計画である。

議員 村民の意見等はどのように集めるのか。
村長 3年度に続き、4年度もアンケートを取るとともに、住民代表を協議会に参画してもらう。

議員 一番の生活圏である杷木・嘉麻市方面、朝早い学生の通学等はどうするのか。



村長 今年度計画策定の中でしっかりと検討する。

議員 BRT関係で観光仕様と村内の地域交通の話はどこまで進んでいるのか。

村長 どうスムーズにつなぐかという部分は当然検討している。JRの出来にくい部分は自治体と共同して検討する。地域交通は村民、観光客、村内交通をどう動かすかという政策は非常に重要です。事業進捗については、適時事業所と打ち合わせを行っていく。



大蔵 久徳 議員

地方創生事業を今後どう進めていくのか
——村長 計画に基づいて事業を展開

議員 3年間続いたトキコーダイネーター事業の効果は。

村長 陶器組合が主体となり、販売ルートの開発や人材育成、また後継者の確保等のマネジメントを行う商社的なものを組合内に設立するために、3年間取り組んだ。その評価は、現時点で具体的数字等が出ないので、もう少し時間を要する。

議員 地域商社はどうなるのか。
村長 立ち上げる計画できたので、今年度から活動を行う。

議員 地方創生事業を今後どのように行っていくのか。

村長 今年の3月18日に、平成30年度以降、3カ年分の外部検証委員会を開いてKPI(重要業績評価指数)等の検証を行い、そ

それぞれの内容について取りまとめを行っている。修正等はあるかと思うが、第2期まち・ひと・しごと総合戦略に基づいて事業に取り組んでいる。

※KPIとは・・・
組織の目標を達成するための重要な目安となる数値。



道の駅小石原の陶器コーナー改装



高橋弘展 議員

学童保育をつくる考えはあるのか

— 教育長 現在は十分子ども館で対応できている

議員 今の家庭環境は、共働き、そして祖父母も現役、移住者も増加。村に学童保育がないことで、保育所までは共働きで夕方まで預けることができても、小学校になれば難しくなる。学童保育をつくる考えは。

教育長 公営は、保護者会の組織化と月5〜7千円の保護者負担。民営は、2〜3万円の保護者負担。保護者の賛同が必要なことや負担、運営への参画を考えたときに、子ども館でも十分に共働き家庭の子どもの預かり場所として機能している。

議員 最大50人近く利用していたこともあるが、その時でも指導者は1〜2名。管理できているのか。



佐々木 孝 議員

村の農業振興をどう考えるか

— 村長 農業を続けることが第一

議員 積極的な農業の振興についての考えについて伺う。

村長 まずは農業を続けていくことが第一。継続する為に、

① 集落座談会、県や村の職員が一緒になって農地の状況を踏まえて話し合っている。

② 収益性の向上として、ゆず製品やハウスを使った作物の奨励を続けていく。

③ 米のブランド化やヤマメの養殖など行うと共に、岩屋の農産加工施設を整備していく。付加価値をつけ、ブランドイメージをあげることに、東峰村のPRをし、応援団を増やしていく。

議員 ライスセンターについては、どう関わっていくのか。

村長 育苗箱数も増え、手狭になっている。他所の田を借りるなどして需要に対応できるように課題を共有し検討する。センターを担う人材を探していきたい。

埋没樹木の展示について

議員 県指定の遺跡である次郎坊太郎坊は、国の天然記念物になった埋没樹木と同じ9万年前の阿蘇第4噴火によってできた地層に作られている。紹介を一緒にしないのか。

教育長 埋没樹木関係に特化して展示を考えている。

他の観光資源は、関係課と協力して進めたい。



こども館



埋没樹木



佐々木 紀嘉 議員

村内をくまなく走る地域交通はどうか

— 村長 オンデマンド方式がいいと思う

議員 村内をくまなく走る地域交通についてはどうか。

村長 すべての方が利便性を享受出来る形の、オンデマンド方式がいいと思う。

議員 BRT、公共交通機関と連携した移動手段の確保が大事と思うがどうか。

村長 地域交通については、BRT等との連携は必ずしなければいけないので検討し実現する。

議員 駅周辺整備事業で釈迦岳トンネルの暗闇をいかした光のトンネルが出来ないか。

村長 運転手への影響が心配されるので、難しいという回答があった。

地域コミュニティづくりについて

議員 地域コミュニティづくりはどのように進めるのか。

村長 必ずやりとげなければならぬので、7月の懇談会から進めていく。

農業振興への取り組みについて

議員 安心して農業が出来る取り組みが必要だと思う。また、水田農業により景観も守られていると思うがどうか。

村長 水田農業は大切な産業であると認識しており、水田による景観も大切なことだと考えている。



建設中のBRT橋台



黒川隆康 議員

防災無線の受信悪化の把握と対策は

— 村長 事業者に調査を依頼している

議員 4月の火災時にサイレン吹鳴後、放送がなかった。場所や火災の種類がわからないと不安になることもあるが原因は何か。

村長 3月に朝倉市の本体装置を更新した後の不具合によるもので、現在原因を調査中。緊急的な対応はとっている。

議員 防災無線が途切れる、入らないといった事案があるが、個別の受信状況について把握しているのか。

村長 昨年、全村で調査を実施し、外部アンテナの設置や機械の変更等行い状況を見ている。特に西福井地区と栗松地区において、中継局、再送信局を設置し改善を行った。デジタル放送は電波が一定のレベルより下が



戸別受信機

議員 機能的な部分について対応方法はないのか。事業者に強く要請することはできないのか。

村長 事業者に出力の関係や、もっといい機械が無いか調査をしてもらっている。



高倉 美紀恵 議員

蔵貫・鶴地区の歩道確保は ——村長 毎年要望している

議員 蔵貫・鶴地区は、歩道のない道路があり、日々通学や日常生活に利用している。国道であるため交通量も多い。事故を防ぐ、子どもを守る、村民を守るため早急に運転者にわかるようにグリーンベルトの歩道の整備をすべきでは。

農林建設課長 現地は歩道もなく車両も多い場所と認識している。県土整備事務所に現状を伝えて協議を進める。

村長 歩道の設置は、ここ数年毎年要望している。条件、工事の難易度、工法などについて交渉、打ち合わせ等協議していく。



鶴地区の歩道のない区間

議員 スクールバスの停留所は横断歩道のある所に設置しているのか。

教育長 西鉄バスの停留所が基本になっている。

議員 横断歩道が消えかかっている。塗り直しができないか。

農林建設課長 県土整備事務所の管轄なので、しっかり伝えていく。



消えかかった横断歩道

議員 バスを降りた子ども達が、そのまま道路を横断しているのが指導できないか。

教育課長 学校の交通安全教室で指導している。



樋口 朗 議員

農協・小石原ATMの再設置を ——村長 農協と協議を継続する

議員 小石原ATM(現金自動預け払い機)が廃止され、住民への影響が大きい。村が資金援助して、再設置出来ないか。

村長 費用をみて検討する。郵便局もあり農協だけの支援は難しく、協議を継続する。

農協東峰支店の将来は

議員 令和7年度以降に農協店舗が再編される予定。仮に東峰支店の窓口業務が無くなると、住民の暮らしを直撃、人口減少が加速し、村が存続できるかの危機では。不転換の覚悟で支店を守るべき。

村長 村として死守しなければならぬ。自治体に一つの支店は残してもらわないと困る。



農協東峰支店

旧宝珠山小学校跡の活用策は

議員 旧宝珠山小学校跡が活用されず、草刈り・剪定も未実施。大行司駅に近く、来年夏にはBRT(バス高速輸送システム)が開業する。どのような活用策を考えているか。

村長 部屋数が多く、色々な使い方が想定できる。駅周辺整備計画で住民の意見を伺い、検討したい。



和田 将幸 議員

ひこぼしライン開業への対応は大丈夫か ——村長 進捗を見ながら順次対応していく

議員 BRTの安全面に対して不安に感じている村民の声がある。住民に対しての説明はあるのか。

村長 安全面での配慮や踏切だった箇所の対応、路線の排水、凍結防止等を配慮するように要望をしている。JRに経過を説明・報告してほしいと伝えていますが、はっきりとした回答はもらっていない。

議員 村としてのBRT利用促進策は。

村長 地域交通とBRTをいかにスムーズに繋げるか、これが第一である。

議員 BRTに伴う地域振興・観光振興策は。

村長

① 新駅、棚田親水公園駅を設置する中で、4駅周辺地域の振興計画、及びその整備計画を策定していく。

② 景観整備については予算を組んでおり、沿線の支障木伐採を開業までにやっていく。

③ JRは観光に特化したバスを購入する考えは今のところ無い。

④ 専用道を村が観光のバスを直接運行することは出来ないが、JRに委託する形は可能。

⑤ 村を周遊する観光プランをJRに提案し、協議・調整等を行っている。



めがね橋

コロナの先に

道の駅小石原編



井上幸夫 駅長

新型コロナウイルスの感染拡大の時期に就任した井上駅長は、いきなり窮地に立ちました。あれから3年、客足は徐々に増え始め、今年の民陶祭はコロナ前に戻りました。

また、主力商品の米は、観光客が訪れて購入していましたが、コロナ以後電話での注文が増え、各地に向けて送っています。東峰の米は大変美味しいと好評です。しかし、駅長は多くの観光客が道の駅を訪れ、陶器をはじめ農産物を購入することで村が活性化することを願っていました。

近年、テレビ・ラジオの取材も多く、村の人材の紹介も行っているそうです。また、観光に対する問い合わせもあり観光協会の役割も果たしています。「コロナが収束し道の駅に観光客を呼び戻すためには駐車場の増設・認定品の紹介をして生き残りをかける」と飛びかんな模様のエプロンで力強く語ってくれました。

ところで皆さん知っていますか。道の駅の体温計はマスクをしないと「マスクを」
と指導します。



お見事!

シリーズ 日田彦山線 沿線物語

筑前岩屋 → 大行司 → 宝珠山

令和5年のBRT開通に合わせて、シリーズで沿線住民の皆さんの取り組みをご紹介します。

「この景観を次世代へ」

長年にわたり筑前岩屋駅周辺のツツジの植栽を続けられてきた岩屋地区の皆さん。今回は、6月末に下草刈りをされていた、伊王寺集落の皆さんにお話を伺いました。

岩屋駅沿線にツツジを植え出したのはいつごろか？

「植えてから45年ぐらいになる。昔は雑草が生い茂り荒地だったが、苗も自分たちで買って、少しずつ毎年植えて今の形になった。」

日田彦山線沿線にツツジを植えた経緯は？

「JRに植樹の申し出をしたからJRも喜んでくれたので、景観の為にツツジを植えるようになった。当時はみんな若かったし、男女問わずみんなで作業した。人も今よりは多かった。昔は車を徐行して、お客さんにツツジを見せようというアナウンスもしてくれていたしJRも感謝状をくれた。福岡県からも県知事賞をもらった。」

日田彦山線への思いは？

「ようやくたばい。いつの間にか、ツツジの時期には人が来るようになったし、地元の誇りみたいになっている。本当は車が通ってくれるのが一番良かった。昔はみんな若かったが、今は70代・80代。後継者がおらんし、体力的にもきつくなってきた。」

いつまで続けるのか？

「自分たちで始めた事なので、死ぬまでやっていきたい(笑)」



伊王寺集落の皆さん

編集後記

任期1年未満の議員4名と9年の議員1名で広報委員を務めています。

①議会の翌月に配布
②読みたくなる③わかりやすい」を目標に取材・編集しましたが、いかがでしょうか。

試行錯誤を繰り返し、皆様から心待ちされる「議会ウォッチ」を目指していきます。異常に早い梅雨明け、猛暑が続きます。熱中症に十分気をつけましょう。

(樋口朗)

議会広報特別委員	高橋 弘展
委員長	佐々木 孝
副委員長	高倉美紀恵
委員	樋口 朗
	和田 将幸
発行責任者	伊藤 均